

● 県民生活を脅かす犯罪の徹底検挙と犯罪組織の壊滅に向けた取組の推進

施策目標（PLAN）

総合的な薬物銃器対策及び暴力団対策並びにヤード対策の推進

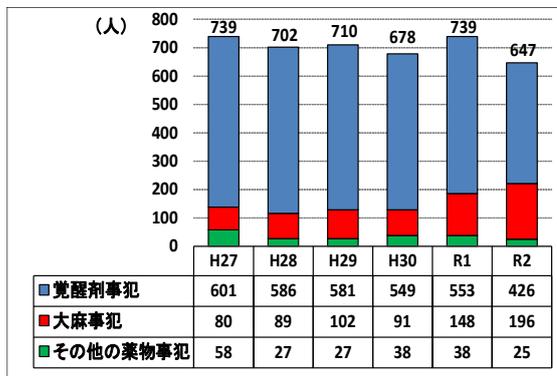
実施項目（DO）

- 1 薬物銃器対策
 - 薬物乱用者の徹底検挙
 - 薬物密輸事犯の取締り強化
 - 違法銃器の摘発強化
- 2 暴力団対策
 - 暴力団による不法行為の根絶
 - 暴力団の活動基盤を崩壊させるための諸対策の推進
- 3 ヤード対策
 - 不法ヤードの実態把握、取締り、解体の更なる強化

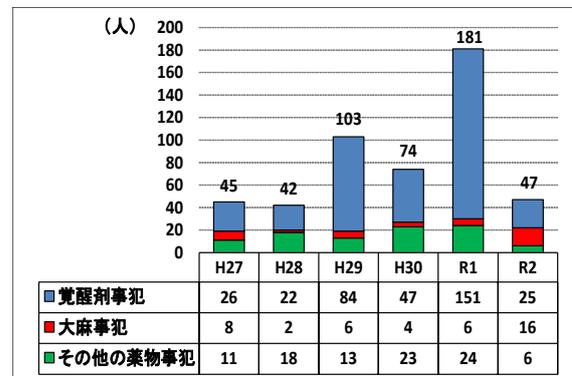
実績（成果）（CHECK）

1 薬物銃器対策関係

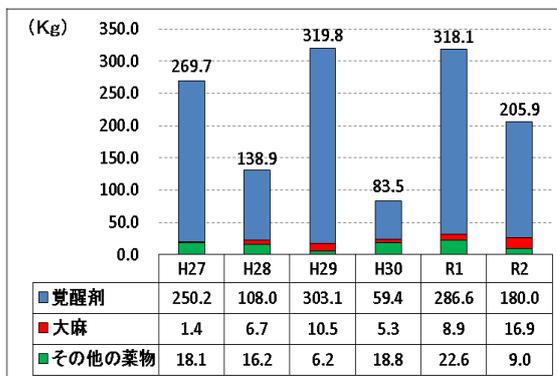
※ 前年に比べて薬物事犯、薬物密輸事犯の検挙人員、薬物の押収量及び拳銃の押収丁数はいずれも減少



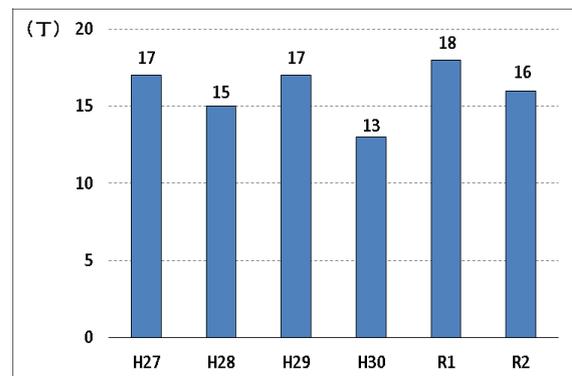
【薬物事犯の検挙人員】



【薬物密輸事犯の検挙人員】



【薬物の押収量】

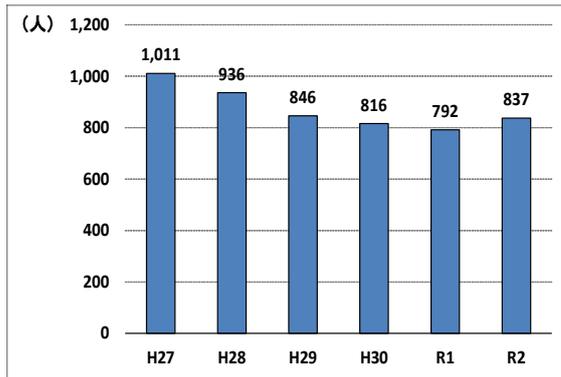


【拳銃の押収丁数】

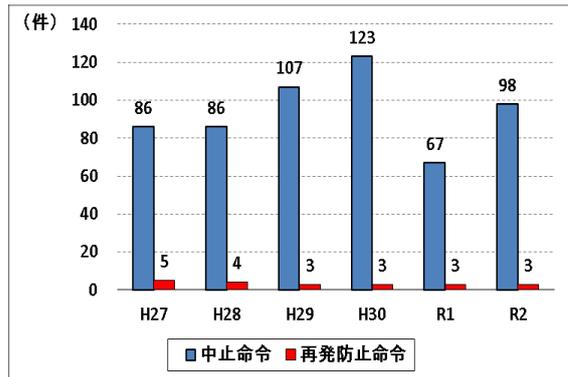
- 薬物事犯の検挙人員及び薬物の押収量の減少要因は薬物密輸事犯の減少
- 薬物事犯の検挙人員に占める大麻事犯の割合が増加

2 暴力団対策関係

※ 前年に比べて検挙人員及び行政命令の発出件数は増加



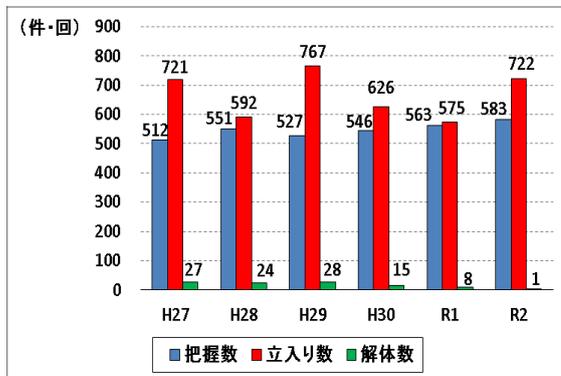
【暴力団犯罪の検挙人員】



【暴力団対策法に基づく行政命令の発出件数】

3 ヤード対策関係

※ 前年に比べて把握数及び立入り数は増加、解体数は減少



【ヤードの把握数、立入り数及び解体数】

- 延べ722か所のヤードに対する立入り等により、ヤード関連犯罪として窃盗、盗品等保管事件等で計18人を検挙、1か所のヤードを解体

今後の課題及び方針 (ACTION)

1 課題

- 若年層の乱用が深刻化するなど、今後も大麻事犯の増加が懸念される。
- 平成29年には、松戸市内において、暴力団による拳銃を使用した殺人未遂事件等が発生するなど、引き続き、その存在が社会、県民生活の脅威になっている。
- 本県のヤードの把握数は全国最多であり、一部のヤードが盗難自動車の解体・不正輸出の作業場となるなど、犯罪の温床になり得る状況がうかがわれる。

2 方針 (継続実施)

(1) 暴力団対策

- 暴力団による不法行為の根絶
- 暴力団の活動基盤を崩壊させるための諸対策の推進

(2) 薬物銃器対策

- 薬物乱用者の徹底検挙
- 薬物密輸事犯の取締り強化
- 違法銃器の摘発強化

(3) ヤード対策

- 不法ヤードの実態解明、取締り、解体の更なる強化